

# 排水設備等計画確認申請書

平成26年10月10日

公共下水道管理者

倉吉市長 石田 耕太郎 様

**新築**

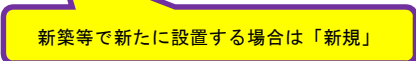
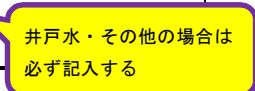
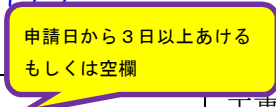
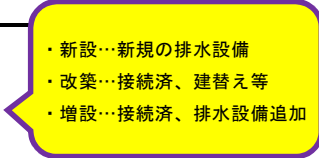
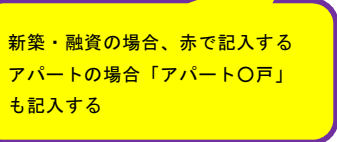
- ・新築・融資の場合、赤で記入する
- ・アパートの場合「アパート〇戸」も記入する

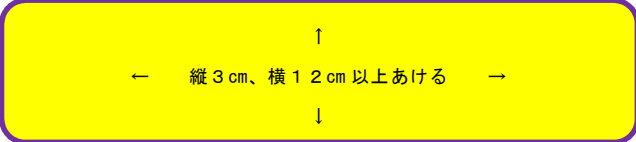
住所 倉吉市葵町722  
 申請人 氏名 下水道 一郎  
 電話 22-8176



倉吉市公共下水道条例第6条第1項の規定により計画の確認を申請します。

計画の種類	① 排水設備 2 水洗便所	工事の種類	① 新設 2 改築 3 増設
施工場所	倉吉市 葵町 722 番地	し尿浄化槽	有 ・ 無
土地所有者の住所・氏名	倉吉市 葵町 722 下水道 一郎	土地面積	100.0㎡
建物所有者の住所・氏名	倉吉市 葵町 722 下水道 一郎	建物面積	100.0㎡
工事着工予定年月日	平成 年 月 日	工事完了予定年月日	平成 27年 8月 10日
委託業者	●●水道設備	責任技術者	●●●●
使用水の種類	① 上水道 2 井戸水 3 その他 ( )	排水の種類	① 家庭污水 2 事業所污水 3 その他 ( )
事業所欄	事業所名	事業種 (事業内容)	
	日平均使用水量	1 上水道 m <sup>3</sup> /日	従業員数 人
		2 井戸水 m <sup>3</sup> /日	排水口数 箇所
	3 その他 ( ) m <sup>3</sup> /日	排除場所	
添付書類	設計書・見取図・平面図(縮尺 1/100)・縦断面図・構造面図		
水道メーター	新規・継続・口径変更		





# 公共下水道使用開始等届

公共下水道管理者  
倉吉市長 石田 耕太郎 様

新築の場合、赤で記入

**新築**

平成 26 年 11 月 11 日

使用料を支払う方

売物件、アパート等で排水設備工事後すぐに下水道を使用しない場合は、「開始」「休止」の両方に○をする。

住所 倉吉市葵町 7 2 2  
申請人 氏名 下水道 一郎  
(総代人) 電話 22-8176



次のとおり公共下水道の { 使用 **開始** 休止・再開・廃止 } を平成 26 年 11 月 10 日から  
{ 使用者変更・使用内容変更 }  
{ 臨時使用 (開始・休止・廃止) }  
したので届出します。

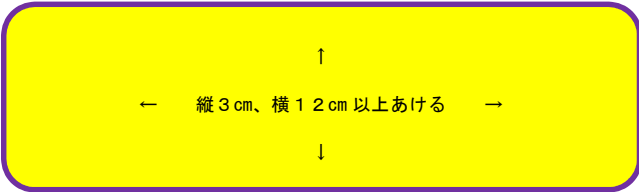
・ 1 箇所でも接続したら、使用開始  
・ 増設・改築でも使用開始届提出

排除場所	倉吉市 葵町 7 2 2		番地	確認番号	第 9 9 9 9 9 号
排水の種類	① 家庭汚水 2 家庭及び事業場汚水 3 事業場又は工場汚水 4 その他( )				
使用開始届	使用水の種類	水道水のみ・併用( )・水道水以外( )		排水人口	4 人
	水道水以外の使用水量	一般用	家庭用 家庭用以外計	=	m <sup>3</sup> /月
事業場用		井戸用 その他( ) 計	平均 平均 平均	m <sup>3</sup> /日 m <sup>3</sup> /日 m <sup>3</sup> /日	平均 平均 平均 m <sup>3</sup> /月 m <sup>3</sup> /月 m <sup>3</sup> /月
変更届	変更前後の別	変更前		変更後	
	使用者又は総代人	住所氏名		住所氏名	
	排水の種類				
	使用水の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共樹接続後、速やかに提出すること。</li> <li>・ 月末接続の場合は水道メーター検針に影響するので、特に速やかに提出する。</li> <li>・ 浄化槽を使用していた場合、「浄化槽廃止届」も同時に提出する。</li> </ul>			
	水道水以外の使用水量				
臨時使用届	使用期間	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日まで			
	排除汚水量	平均	m <sup>3</sup> /日 × 日間 =		m <sup>3</sup>
	その他	接続時(使用開始日)の指針を記入			
水道メーター	口径 13mm 番号 128-4567 指針 0001.0 m <sup>3</sup>		委託業者	●●水道設備	

※下水道課記入欄

下水 No.		新規入力	・	・	賦課異動	月	異動入力	・	・
					上水 No.		No. 入力	・	・

新築の場合は、朱色(赤)で新築と記入してください。



# 排水設備等変更届

平成 年 月 日

公共下水道管理者

倉吉市長 石田 耕太郎 様

変更届、竣工届の日付は空欄で提出

住所 倉吉市葵町722

申請者 氏名 下水道 一郎

電話 22-8176



次のとおり排水設備(排水施設)の一部を変更したいので、別紙図面を添えて届出します。

確認番号	第 99999 号	確認年月日	平成26年10月10日
設置場所	倉吉市 葵町 722	番地	
変更事項	<p>・ 柵間の延長変更、柵深さの変更</p> <p>・ 工期延期の場合、旧工期と新工期を記載した変更届を提出する</p> <p>【記入例】 工期変更 変更前 平成27年 3月10日まで 変更後 平成27年 3月31日まで (理由) 建築工事の遅れによる 等</p>		
委託業者	●●水道設備	責任技術者	●● ●●

・ 集落排水の変更届には委託業者欄がないので、空いた所に業者名、社印を押す

↑  
← 縦3cm、横12cm以上あける →  
↓

# 排水設備等竣工届

変更届、竣工届の日付は空欄で提出

平成 年 月 日

公共下水道管理者

倉吉市長 石田 耕太郎 様

申請書と同じ住所で提出  
(引越後でも申請書住所を記入)

住所 倉吉市葵町722

申請者 氏名 下水道 一郎



電話 22-8176

次のとおり排水設備(排水施設)の新設(改築、増設)工事が竣工したので、届出します。

確認番号	第 99999 号	確認年月日	平成26年10月10日
設置場所	倉吉市 葵町 722	変更届、竣工届の日付は空欄で提出	番地
竣工年月日	平成 年 月 日	↑ ← 縦2cm、横5cm以上あける → ↓	
委託業者	●●水道設備	責任技術者	

- ・変更届 → 計画確認書(変更確認) → 竣工届 と、なるので変更届と竣工届は同日扱いではない(2日程度空きます)
- ・上記調整のため、日付は空欄で提出する
- ・工事完了予定日の2日前以上前に変更届等は提出する
- ・公共樹接続状況、ヘッダー使用の場合はヘッダー設置状況の写真を添付すること

↑  
縦4cm以上あける  
↓

排水設備工事設計書 (精算書)														
申請者氏名		下水道 一郎		見積・精算作成年月日		平成 26 年 10 月 5 日								
申請者住所		倉吉市 葵町 7 2 2		指定工事店名		●●水道設備								
施工場所		倉吉市 葵町 7 2 2		設計者氏名		●●●● (印)								
工種	名称	見 積					精 算							
		形状寸法	数量	単位	単価	金額	摘要	形状寸法	数量	単位	単価	金額	摘要	
①	和風大便器			式										
	和風兼用便			〃										
	洋風大便器	AAA-000	1	〃										
	小便器			〃										
	手洗器			〃										
	暖房便座			個										
	小 計				請負									
	管布設(VU)		○100 H=0.3	5.0	m		土工事	○ H=		m		土工事		
	" (VU)		○100 H=0.4	6.7	〃			○ H=		〃				
	" (VU)		○100 H=0.5	3.8	〃			○ H=		〃				
" (VU)		○100 H=0.6	5.8	〃			○ H=		〃					
" (VU)		○100 H=0.7		〃			○ H=		〃					
" (VU)		○100 H=0.8		〃			○ H=		〃					
" (VU)		○100 H=0.9		〃			○ H=		〃					
②	管継手(VU)	LL 100	1	個			○		個					
	管継手(VU)	45L 100	1	〃			○		〃					
	管継手(VU)	IN 75×50	1	〃			○		〃					
	管継手(VU)	DS 100	2	〃			○		〃					
	管継手(VU)	DS 75	1	〃			○		〃					
	管継手(VU)			〃			○		〃					
	管継手(VU)			〃			○		〃					
	管継手(VU)			〃			○		〃					
	管継手(VU)			〃			○		〃					
	管継手(VU)			〃			○		〃					
工 事	塩ビ製汚水枡	φ 15 H=0.3		箇所			φ H=		箇所					
	"	φ 15 H=0.4	2	〃			φ H=		〃					
	"	φ 15 H=0.5	1	〃			φ H=		〃					
	"	φ 15 H=0.6	1	〃			φ H=		〃					
	"	φ 15 H=0.7	1	〃			φ H=		〃					
	"	φ 15 H=0.8		〃			φ H=		〃					
	塩ビ製トラップ枡	φ 15 H=0.3	1	箇所			φ H=		箇所					
	"	φ 15 H=0.4		〃			φ H=		〃					
	"	φ 15 H=0.5		〃			φ H=		〃					
	"	φ 15 H=0.6		〃			φ H=		〃					
"	φ 15 H=0.7		〃			φ H=		〃						
"	φ 15 H=0.8		〃			φ H=		〃						

書類提出日と食い違いのないように。

建築請負の場合は数量を記入し、単価・金額を抜いて「請負」とする。

工種	名称	見 積					精 算						
		形状寸法	数量	単位	単価	金額	摘要	形状寸法	数量	単位	単価	金額	摘要
②	コンクリート製汚水枡	φ H=		箇所				φ H=		箇所			
	"	φ H=		〃				φ H=		〃			
	"	φ H=		〃				φ H=		〃			
	"	φ H=		〃				φ H=		〃			
	"	φ H=		〃				φ H=		〃			
	コンクリート取壊復旧	t= 10cm	7.2	m				t=		m			
	"	t=		〃				t=		〃			
	床板取外し復旧			m						m			
	配管貫通工	コンクリート土台基礎			箇所			コンクリート土台基礎		箇所			
	"	木造外壁・珪砂外壁			〃			木造外壁・珪砂外壁		〃			
排 水 設 備 工 事	排水トラップ°取付	○ 号		箇所			○ 号		箇所				
	"	○ 号		〃			○ 号		〃				
	屋外排水トラップ°取付	○ 号		箇所			○ 号		箇所				
	"	○ 号		〃			○ 号		〃				
	既設手洗トラップ°取付			箇所					箇所				
	既設洗面トラップ°取付			〃					〃				
	床排水トラップ°取付			〃					〃				
	舗装切断工		24	m					m				
	舗装取壊し工			m					m				
	舗装復旧工			m					m				
舗装路盤工			m					m					
浄化槽解体埋戻		1	式										
公共枡接続工		1	式										
小 計				請負					小 計				
直接工事費計		a		① + ②		直接工事費計		g		① + ②			
諸経費		1.0 式		b		諸経費		1.0 式		h			
排水設備工事費計		c		a + b		排水設備工事費計		i		g + h			
関連工事	給水工事費	1.0 式		j		給水工事費				j			
	建築工事費			k		建築工事費				k			
融資対象工事費計		e		c + d		融資対象工事費計		k		i + j			
融資対象外	消費税	8 %		f		消費税				l			
					g						m		
合計(精算額)		e及びAの承諾 (印) A		請負 e + f		k及びBの承諾 B		B		k + l			

融資の場合、水回りの建築工事も融資対象となりますが、工事内訳を別紙添付すること。

融資の場合は、全ての単価、金額を入力する。

# 見取図

- ・方位を入れる
- ・周辺の目印となる建物がわかる地図を使う
- ・申請地が分かるように朱塗りをする



- ・記入方法に沿って、製図する
- ・黒一色でしか記入できない場合は、新設は黒実線、既設は黒点線とする

# 設計図凡例

名称	記号	名称	記号
大便器	和・兼・洋	立管	○
小便器	壁・ストル	排水溝	＝
浴場・バス	←	公共汚水ます	◎
台所流し類	←	公共雨水ます	☒
手洗器・洗面器	手・洗	汚水ます	○
床排水など	⊗	雨水ます	☒
トラップ	●	トラップます	◎
掃除口		雨樋	○
油脂トラップ	□	公私境界線	---
除害施設	□□	隣地境界線	----
排水管	—	建物外周	—
通気管	----	建物間仕切	----
管の交差	└┘		

(注)

- 1) 境界線・建物外周・間仕切り・寸法線は細線、排水設備は太線とする。
- 2) 新設・増設・改築は赤実線、撤去は赤点線、既設は黒実線とする。

# 配管図

- ・配管図は建物内からの配管口径等、使用部材を詳細に製図する。
- ・縮尺は違って良いので、見やすい製図とする。

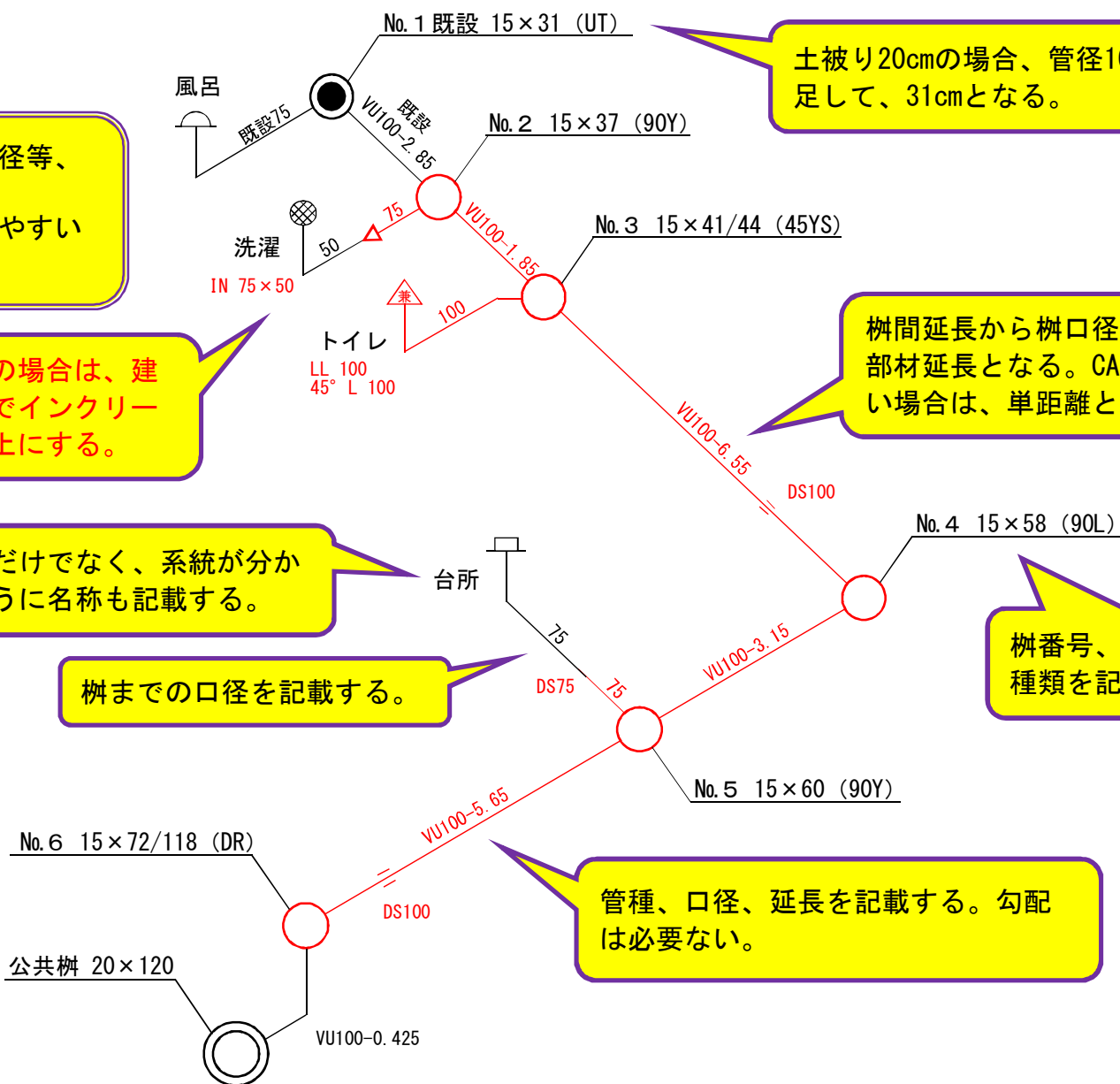
既設管がφ50以下の場合、建物基礎から出た所でインクリーザーによりφ75以上にする。

記号だけでなく、系統が分かるように名称も記載する。

桝までの口径を記載する。

## 設計図の記載数値【例】

- ・管路延長 … m 【7.85】  
(小数点以下第2位まで)
- ・桝寸法 … cm 【15】
- ・桝深さ … cm 【31】
- ・管径 … mm 【100】
- ・勾配 … 【2.0】  
(小数点以下第1位まで)



土被り20cmの場合、管径10cmと管厚1cmを足して、31cmとなる。

桝間延長から桝口径を引いた数字が部材延長となる。CAD仕様で引けない場合は、単距離と同じでも良い。

桝番号、内径、深さ、種類を記載する。

管種、口径、延長を記載する。勾配は必要ない。



